

# あかさか

おもいやりの心をもち お互いに高め合い  
たくましく生きる子ども



伊達市立大田小学校  
文責：芳賀沼真由美  
令和8年1月9日

## ☆★ あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひいたします ☆★

2026年（令和8年）を迎え、8日（木）から3学期が始まりました。冬休み中、事故や事件もなく過ごすことができ、元気な子どもたちの姿を見て、大変嬉しく思いました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

昨年も様々な自然災害がありました。災害から時間がたっても、仮設住宅などで不自由な生活をしている方が大勢いらっしゃいます。同じ日本でありながら、私たちは明るく暖かい部屋でおいしいものを食べたり、家族で楽しい話をしたりなど、何不自由なく過ごしています。当たり前のことが当たり前にできることのありがたみを実感しています。東日本大震災やそれに伴う原発事故を経験した福島県の私たちだからこそ、何ができるか考えたいものです。被災された皆様の健康と一日も早い復旧をお祈りしております。

8日の始業式では、3学期に大切にしてほしいことを3つ話しました。「自分から元気にあいさつすること」「あきらめないでがんばること」「困ったことがあったら相談すること」です。これらの大切にしてほしいことは、1学期から継続して話していることです。

今年も、大田小学校の子どもたち全員の心と身体の健康を第一に、安全・安心な学校づくりをしていきたいと思います。また、これまで同様、ご家庭との連携を密にしながら楽しく充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。

特に、この3学期は学年のまとめの学期です。日々の授業や学校行事等を通して、6年生は卒業・中学校入学に向けて、1～5年生は進級に向けて、新たな学年のO学期としてしっかり準備ができるよう、教職員一同、支援していきたいと思います。

今後とも、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。



### お正月飾り「門松」

12月下旬に大田交流館から手作りの「門松」をいただきました。お正月の飾りとして、「門松」を玄関や門の前に飾る文化は、平安時代に始まったとされています。

「門松」には、松と竹が選ばれ、「松は千歳を契り、竹は万代を契る」といわれます。松や竹は、根強い繁殖力、やせ地にもよく耐えて生き続けることから、「永遠」や「純心」などの象徴になっているようです。

日本の昔からの素敵な文化を今後も大切にしていきたいものです。



### 春の七草

日本では昔から、「七草がゆ」を食べることで長寿や無病息災を願ってきました。現在では、正月料理のごちそうで疲れた胃腸を休めるという意味も含まれているそうです。

「春の七草」にはどんなものがあるか、お子さんと一緒に調べてみてはいかがでしょうか。

